

どんぐい村の
こみ・すく通信
 令和6年9月10日発 令和6年度 第11号
 更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介<その1>
みんなが安心して過ごせる村に 福祉を学ぶ

更別小学校4年生

8月27日、社会福祉協議会の小丹枝さん、中野さん、庄司さんに来校いただき「車椅子」を体験する「福祉の授業」をしていただきました。

車椅子介助をする時の声かけ等の仕方を、悪い例と良い例を見せていただきながら学びました。子どもたちは車椅子の介助練習の時、優しい声かけをし、相手を気遣いながら押ししていました。その後、車椅子でポッチャ体験をしました。福祉は「**ふ**だんの **く**らしを **し**あわせにすること」を教えてくださいました。



9月2日には、保健福祉課保健師の藤田さん、社会福祉士の佐々木さんに来校いただき、認知症サポーター養成講座を受けました。「認知症って何だろう」「認知症の人と接するときはどうしたらよいか」について学びました。また、認知症かもしれない家族の人に対してどんな対応をすればよいのかを、寸劇をもとに教えてもらいました。子どもたちは「クイズが楽しかった」「わかりやすく教えてくれた」と感想を述べていました。



上手に伝えるスキルを学ぶ

更別中央中学校1年生

8月29日、更別中央中学校1年生が「さらべつほーぷ」の方々に来校いただき、「伝えたいことを上手に伝えるコミュニケーション ～相手も自分も大切にしたいあたたかい言葉かけ～」について学びました。

今回は、ほーぷの三浦さん(保健師)が中心となり他のメンバーと一緒に授業を進めました。



自分の考えを書く、グループで話し合うなど、たくさんの学習活動を行いました。

感想から 「自分自身も相手もどちらも大切にしていきことを改めて学んだ。これからのコミュニケーションにも太陽の言葉を意識していきたい。」

カボチャ大収穫

JAさらべつ青年部と更小5年生

9月3日、JAさらべつ青年部の皆さんのご協力をいただき、更別小学校5年生がカボチャの収穫をしました。今年も立派なカボチャがゴロゴロ実り、子どもたちは青年部の皆さんに教わりながら大きなハサミを使ってつぎつぎと収穫していきました。たくさんのカボチャを前に、笑顔と感謝の5年生でした。

